

スポーツ推進委員だより

問い合わせ スポーツ課 ☎(018)53801

今年の8月25日(火)～9月6日(日)に、東京2020パラリンピックが開催されます。今回は、パラリンピックの競技や見どころなどについて、ご紹介します。

パラリンピックとは？

パラリンピックは、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典です。4年に一度、オリンピック競技大会の終了後に同じ場所で開催されています。



どんな競技があるの？

東京2020パラリンピックでは、22の競技が実施されます。

陸上競技や自転車競技、ラグビーなど、オリンピックでもおなじみの競技があります。パラリンピックでは、障がいをサポートしたり、障がいの程度が違ふ選手が公平に競えたりするなどのルールがあります。たとえば、自転車競技では、視覚障がいのある人と、ハンドルをサポートする人が2人乗りする自転車があります。また、視覚障がいのある選手対象のサッカーでは、見え方の違いによる有利不利をなくすために、

全員アイマスク(目隠し)をして競技をします。

他にも、パラリンピック特有の競技があります。たとえば「ボッチャ」は、目標のボールにいかに多くのボールを近づけられるかを競う、ペタンクとよく似た競技で、戦略や駆け引きに見ごたえがあります。太宰府市内でも、NPO法人太宰府障害者団体協議会などが主催となり、毎年12月の障がい者週間に合わせて、太宰府障がい者ボッチャ交流会を開催しています。

応援は？



たとえば視覚障がいのある選手が出場する走り幅跳びでは、選手をサポートする「コーラー」と呼ばれる人がつき、踏切位置などを声や手拍子で選手に伝えます。同じく視覚障がいのある選手が出場するサッカーやゴールボールはボールに入っている鈴の音を頼りに競技をします。これらの競技を観戦するとき

は、コーラーの声や鈴の音が選手によく聞こえるように、声を出しての応援は控えます。競技中の静かさ、得点が決まった時の大きな歓声のメリハリもパラリンピックの醍醐味です。

メダルは？

リオデジャネイロ2016パラリンピックでは、振ると金・銀・銅で違う音が鳴るメダルでした。東京2020パラリンピックでは、金・銀・銅で異なる数のくぼみがあるメダルが準備されています。

パラリンピックにはたくさん見どころがあります。ぜひ観戦してください。



ボッチャ交流会の様子



みちたみさと 道下美里選手を応援しよう!

2月2日(日)開催の別府大分毎日マラソン視覚障害女子の部にて、太宰府市在住の道下美里選手が、自身の世界記録を更新する2時間54分22秒で優勝されました。道下選手は東京2020パラリンピックへの出場を確実としており、金メダル獲得が期待されています。ぜひ、東京2020パラリンピックでは、太宰府市民一丸となって道下選手を応援しましょう!

(参考) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会公式ホームページ
<https://tokyo2020.org/jp/games/about/paralympic/>